

楽しかったこと、悲しかったこと、思い出、地域のできごと、イラストやマンガ、エッセイ、サークルのお誘い、趣味や宝物、広報へのご意見・ご感想などどしどしお寄せください。あなたの住所、名前、年齢、電話番号も忘れずに。投稿された人には、記念品を差し上げます。

りんぽかんまつりにご参加ください

●りんぽかんまつり実行委員会事務局

第13回りんぽかんまつりを次のとおり行います。人権子ども会による体験学習報告や合唱のほか、解放学級で制作したパッチワークや切り絵等の作品展示、もちつき大会、お米・卵・お菓子・日用品などが当たる抽選会など楽しい催しがありますので、ぜひご参加ください。

- とき 3月19日(土) 午前10時から午後2時まで
- ところ 舟川隣保館(大字新延2676番地)
- 問い合わせ 舟川隣保館 ☎42局2370番まで

小学校で人権教育啓発活動を行います

●鞍手町教育委員会

2月4日、西川小学校で6年生を対象に「人権なかま作り学習」を行いました。写真は、漢字しりとりをしている様子です。グループに分かれて協力することが重要なゲームで、子どもたちは真剣に仲良く取り組んでいました。一人ひとりが欠かすことのできない大切な存在であるということ再認識することができたのではないのでしょうか。また、2月16日



舞踊協会定期講演会

●鞍手町舞踊協会

鞍手町舞踊協会では、次のとおり第18回定期公演会を行います。今回も舞踊愛好者が多数出演します。皆さん、お誘い合わせしてお越しください。

- とき 3月27日(日) 午前10時30分から
- ところ 中央公民館
- 入場料 無料
- 問い合わせ 鞍手町舞踊協会・藤間菊名里 ☎42局2045番まで



どれみの会30周年記念コンサートのご案内

●鞍手どれみの会

鞍手どれみの会では、次のとおり「どれみの会30周年記念コンサート」を行います。混声合唱団の歌声をピアノやヴァイオリンが奏でるメロデーに乗せてお届けします。ぜひご来場ください。

- とき 3月21日(月・振休) 午後2時から(開場は午後1時30分)
- ところ ユメニティのおがた・大ホール
- 入場料 五百円(中学生以下は無料)
- 問い合わせ 鞍手どれみの会代表・嶋津益美 ☎(090)36060505番まで

には剣北小学校で6年生を対象に「人権であい学習」を行いました。福岡朝鮮歌舞団団長の金妙穂さんと団員で歌手の金潤基さんをお呼びし、朝鮮の歴史や言葉、阪神大震災の被災体験などをお話ししていただきました。6年生にとっては、衝撃的な内容だったかもしれませんが、人と人が出会えば、仲良くなること素晴らしさを学ぶことができたのではないのでしょうか。



鞍手町教育委員会では、このように人権教育啓発活動を行っています。今後も引き続き行っていきます。

粘土

森 恵津子さん (新北)

洋風の内裏雛です。樹脂粘土で作成しました。着物の色だしが難しく、のぼし棒で一回での色柄です(マーブル調)。ビーズとつけまつ毛を付けています。高さは45cmです。



鞍手どれみの会
30th
記念演奏会

2016年3月21日(月)
13:30 14:00
ユメニティのおがた・大ホール

入場料 500円
(中学生以下は無料)

出演 ● 鞍手どれみの会(混声合唱団)
指揮: 嶋津 益美
ピアノ: 吉田 美穂
ヴァイオリン: 有働 智子(賛助出演)
曲目 ● オープニング「こぼれてすてきなもの」
日本の歌、ポピュラー、シャンソン

主催 ● どれみの会実行委員会
後援 ● 鞍手町、鞍手町教育委員会、鞍手町文化連盟
お問い合わせ ● 実行委員会事務局 090-3606-0505(携帯)

第35回中学生人権作文コンテスト 福岡県大会で奨励賞受賞

●役場福祉人権課児童人権係

鞍手中学校の生徒3人が、全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会で奨励賞を受賞し、12月18日、その賞状が鞍手中学校で伝達されました。受賞者は、左から栗田悠加さん（1年）、長濱実央さん（2年）、宮谷桃子さん（3年）です。皆さん、受賞おめでとうございます。これからも人権について考える心を大切にされてください。



鞍手乳児院に 御下賜金が伝達されました

●役場福祉人権課児童人権係

優良な社会福祉事業団体・施設に贈られる天皇陛下の御下賜金が、社会福祉法人鞍手児童福祉会鞍手乳児院に贈られました。これは、昭和27年の開設から今日まで、地域の児童福祉に多大な貢献をされてきたことが評価されたものです。12月22日に福岡県庁で小川知事から御下賜金の伝達を受けられた内藤憲雄施設長が、同日、報告のため町長を訪問されました。



リレーエッセー 晴れたらいいね。

白石実枝さん（新北・64歳）

VOL 204

私には何も言えず寂しかったと母から聞いています。私が母親になって同じように姑にされたらと思うと、母はよく辛抱したと尊敬します。私は、下の子が2歳の時、仕事に出ることになりました。子どものこととでなかなか休むことができず、具

嫁は、孫が具合の悪いときは私を頼り、預けてくれます。私の子どもたちを親身になって世話をしてくれた祖母や両親の姿をお手本に、息子家族の力になれる姑であり、祖母でありたいと思う日々です。私の祖母と両親が、私や私の子どもたちにどれ

これからも平和で安全な環境の中で暮らせる世が末永く続くことを、孫の世話をしながら念じています。

今回は、松野賢珠さん（八尋）です。

リフォーム

古野 かすみさん
（中山）

羽織の裏地の柄がとても気に入り、見返しや袖口などにあしらってみました。昔の布は軽くて暖かく、また、滑りも良いので着やすく重宝するのではと思っています。



短歌

渡邊 榮子さん
（長谷）

日本人のルーツは縄文にありと言われています。縄文の世には戦はありませんでした。自然と折りとを大切にしながら暮らしていたのでしょうか。

和楽なる森を照らして今の世も
静かにめぐる縄文の月

広報 ぎやらりー

すてきな作品をお待ちしています

ねんど細工や絵、書、紙細工、陶芸、俳句、短歌など自慢の一品は、ありませんか。「広報ぎやらりー」では、紙面を彩るあなたの作品をお待ちしています。作品についての100字以内の感想もお願いします。役場政策推進課 ☎ 42局 2111番まで、ご連絡ください。